

調布教会 教会学校 週報

2025年度 みことば



「^{かみ}神は、^{ひと}その^ごひとり^{あた}子をお^{あた}与え^よにな^あった^あほどに、^よ世を^あ愛^あされた。」
ヨハネによる福音書 3章 16節a より

きょうかいがっこうれいはい
教会学校礼拝プログラム

2025年 4月27日

ぜん 奏
*賛 美

「しゆのふっかつ、ハレルヤ」 こどもさんびか改訂版 91

いの
お祈り

てん 天の愛するお父さん、あなたはすべてをご存じです。あなたは一つの言葉で、多くのことを語られます。一つの出来事を、私たちがどのように受け取るのかを見ておられます。霊を選ぶのか、どうかを見ておられます。私たちは立ち止まり、その結ぶ実を見ることによって、あなたが共におられたことを知ることができます。アーメン。

せい 書
こうどくしへん
交読詩編

そうせいき 創世記 28章 10～15節 旧約聖書 p. 42

交読詩編 (12) 詩編 95より p. 206

せつ 教
説

「あなたは命を選びなさい」

イエスさまは死んだ子どもを「起きなさい」と生き返らせられました(ルカ8:49-56)。私たちは夜に眠り、朝に起きますが、神にとっての死とは、私たちに眠りのようなものかもしれませんね(マルコ4:33-34)。イエスさまが再び来られる時には、このように起こされて、それが御心に適うものであったかどうかを分けられます(マタイ13:31-30、36-43)。

ヤコブは夢を見ましたが、眠りの先、死の先で、主は問いかけられます、「あなたに祝福を用意している」と。その祝福は、呪いや災いのように見えるけれども(レビ26章、申命28章)、ヤコブの成長の糧となります。そのために主は、「あなたは命を選びなさい」と言われますが、祝福とは、命とは、何でしょうか。少し立ち止まって思いを寄せてみましょう。アーメン。

あんしょうせい
暗唱聖句

わたしはあなたと共にいて、あなたがどこへ行くにしてもあなたを守り、この土地に連れ戻す。私はあなたに約束したことを果たすまで、決してあなたを見捨てない。(創世記 28章 15節)

もくそう
黙想タイム

*賛 美

「主は今生きておられる」 プレイズワールド 49

けんきんかんしゃ
献金と感謝のお祈り 24-1

*主の祈り

てん 天にまします我らの父よ。願わくは御名をあがめさせたまえ。御国を来たさせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を今日も与えたまえ。我らに罪を犯すものを我らが赦すごとく、我らの罪をも赦したまえ。我らを試みにあわせず、悪より救いだしたまえ。国と力と栄えとは、限りなくなんじのものなればなり。 アーメン

し
お知らせ

- ・次週は、5月のお誕生日会です。みんなで祝いましょう。
- ・主日礼拝前半の「子ども説教」への出席をお待ちします。
- ・教会に来られない時は、LINEを利用して家庭礼拝をおさげしましょう。

*賛 美

36 いまでかけよう

*祝 福

八木 浩史 牧師

こう
後 奏

<せいしょ>

10 ヤコブはベエル・シェバをたつて、ハランへと向かった。 11 ある場所にさしかかったとき、日が沈んだので、そこで一夜を過ごすことにした。彼はそこにあった石を取って頭の下に置き、その場所に身を横たえて眠り、 12 夢を見た。すると、先端が天にまで達する階段が地に据えられていて、神の使いたちが昇り降りしていた。 13 すると、主がそばに立って言われた。「私は主、あなたの父祖アブラハムの神、イサクの神である。今あなたが身を横たえているこの地を、あなたとあなたの子孫に与える。 14 あなたの子孫は地の塵のようになって、西へ東へ、北へ南へと広がってゆく。そして地上のすべての氏族は、あなたとあなたの子孫によって祝福される。 15 私はあなたと共にいて、あなたがどこへ行くにしてもあなたを守り、この土地に連れ戻す。私はあなたに約束したことを果たすまで、決してあなたを見捨てない。」

〈参考聖句〉 以下の拝読は不要です。

〈申命記 30章 19節〉 私は今日、天と地をあなたがたに対する証人として呼び出し、命と死、祝福と呪いをあなたの前に置く。あなたは命を選びなさい。そうすれば、あなたもあなたの子孫も生きる。

〈ガラテヤの信徒への手紙 5章 19-23節〉 19 肉の行いは明白です。淫行、汚れ、放蕩、 20 偶像礼拝、魔術、敵意、争い、嫉妬、怒り、利己心、分裂分派、 21 妬み、泥酔、馬鹿騒ぎ、その他このたぐいのものです。以前も言ったように、ここでも前もって言いますが、このようなことを行う者は、神の国を受け継ぐことはありません。 22 これに対し、霊の結ぶ実は、愛、喜び、平和、寛容、親切、善意、誠実、 23 柔和、節制であり、これらを否定する律法はありません。

<さんび>

主はいま生きておられる

しゅイエスは わがため
じゅうじかに かけられ
わがつみ あがない
はかよりよみがえられた
しゅはいま いきておられる
わがうちに おられる
すべては しゅのみてにあり
あすもいきよう しゅがおられる



しゅのふつつ、ハレルヤ

1. しゅのふつつ、ハレルヤ。ほめうたえ、ハレルヤ。
はかもしもうれいも うちやぶるしゅイエスよ。
しのとげさえほろぼし、ひとのつみをあがなう、
しゅのふつつ、ハレルヤ。うたごえは ハレルヤ。
2. はかふさぐいわさえ、みっかめにのけられ、
しをこえていのちへ、しゅはしょうりおさめた
しのとげさえほろぼし、ひとのつみをあがなう、
しゅのふつつ、ハレルヤ。うたごえは ハレルヤ。
3. はかにたつてんしが、よろこびをしらせる。
「おそれるな。しゅイエスは ここにはおられない。
しゅをつつんだころもが まるめられているだけ」。
しゅのふつつ、ハレルヤ。うたごえは ハレルヤ。
4. 「さあいつて、このしらせを でしたちにつげなさい。
しゅはひつつなされた。われらはすくわれた」。
しのとげさえほろぼし、ひとのつみをあがなう、
しゅのふつつ、ハレルヤ。うたごえは ハレルヤ。

